

東駿河湾都市圏都市交通マスタープラン

第3回東駿河湾都市圏パーソントリップ調査

都市交通マスタープランは、概ね20年後の都市圏の将来像を見据えた都市交通の基本計画です。人口減少や少子高齢社会の本格化に対応した「コンパクト+ネットワーク」の構築に向けた交通施策の展開を提案しています。

【目指す都市交通像】

県東部の交通・観光の要衝として 活発な交流を生み出し 活力、安全・安心を支える交通ネットワーク

首都圏と中京圏を結ぶ交通の要衝であるとともに、富士山・伊豆・箱根に囲まれた観光の要衝である本都市圏の多様な交流と都市活力を支え、安全・安心、健康で文化的な生活を支える交通ネットワークを目指します。

【都市交通体系の基本方針と戦略】

目指す都市交通像の実現に向け、都市交通体系の基本方針を「活力」「安全・安心」「交流」の大きく3つの視点から設定しました。また、基本方針に基づく8つの戦略を設定し、各戦略に沿った交通施策を展開します。

【交通ネットワーク計画】

都市圏内外の広域的な交流の促進や、都市拠点と地域拠点間等を連絡する「骨格幹線道路網」と「骨格公共交通網」の形成を図ります。また、都市圏全体に公共交通サービスが行き届くネットワークの形成を図ります。

方針Ⅰ 拠点集約型都市構造の実現に向けた交通体系の確立

- 戦略① 都市圏の骨格軸の形成
- 戦略② 都市拠点の魅力向上につながる交通施策の展開
- 戦略③ 地域間の連携を確保する交通基盤の整備

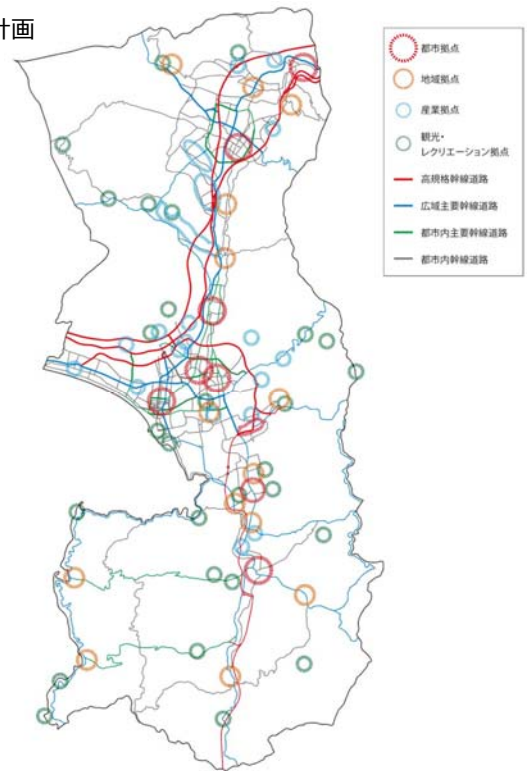
方針Ⅱ 安全・安心で快適な生活を支える交通体系の確立

- 戦略④ 高齢者をはじめ誰もが便利な移動手段の確保
- 戦略⑤ 健康で文化的な暮らしを支える交通施策の展開
- 戦略⑥ 災害に強く安心して移動できる交通施策の展開

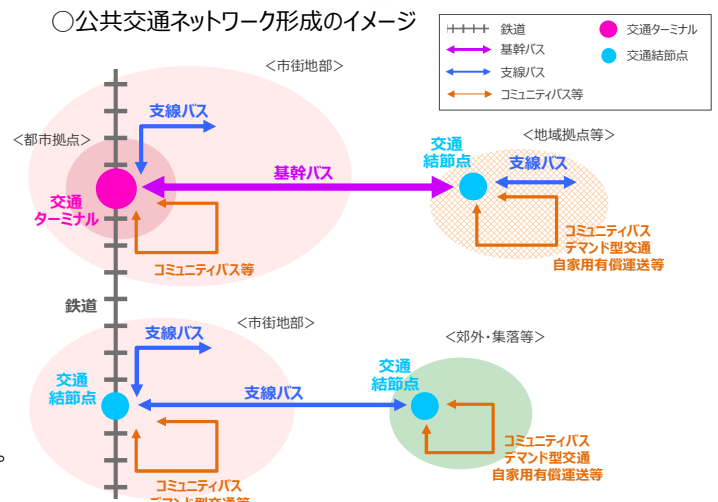
方針Ⅲ 交流促進・連携強化による観光を支援する交通体系の確立

- 戦略⑦ 高速・広域交通ネットワークの活用
- 戦略⑧ 観光交通に対応した交通施策の展開

○道路網計画



○公共交通ネットワーク形成のイメージ



【主な交通施策】

- ・ 鉄道駅の結節機能を強化し、駅の利便性、拠点性を高めます。
- ・ 交通結節点におけるスムーズな乗り継ぎ環境の形成や公共交通のユニバーサルデザイン化を図ります。
- ・ 自動運転技術などの新たな技術を活用した交通施策を展開します。
- ・ 高齢者をはじめ誰もが移動しやすい安全・安心で快適な交通環境づくりを推進します。
- ・ 多様な観光資源を連絡する観光周遊ネットワークの形成を図ります。

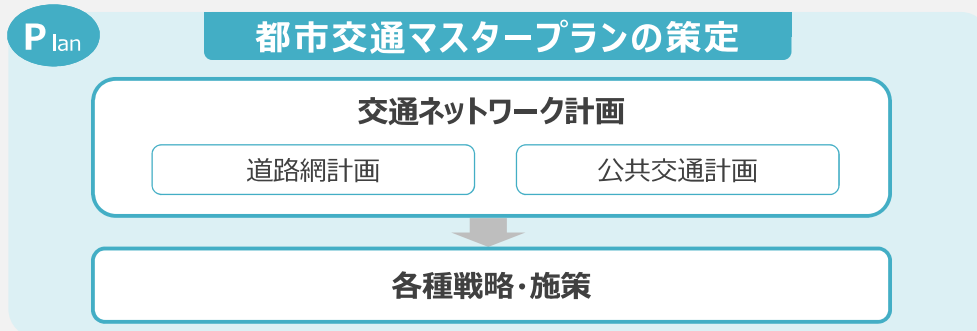
6.推進体制等

6-1 計画の展開に向けた取組

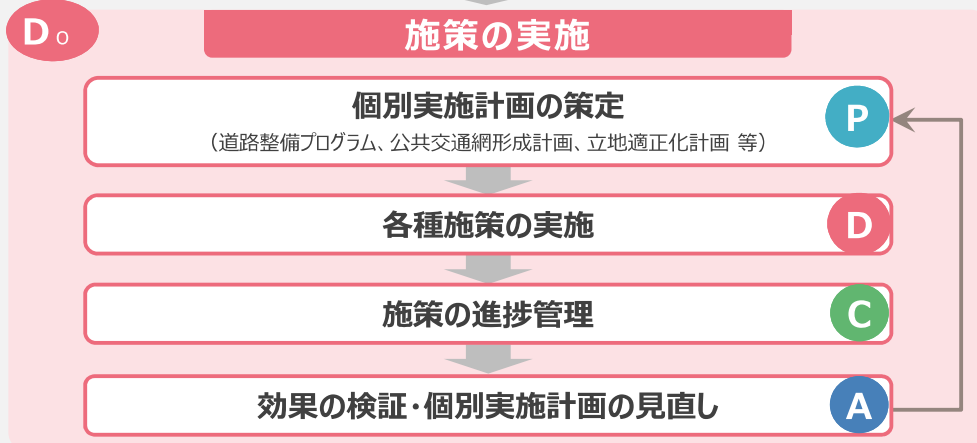
- 都市交通マスタープランの展開により、目指すべき都市交通像の実現に向けた取組を進めます。
 - 積極的な周知により、**都市交通マスタープランの情報共有**を図ります。
 - 幅広い意見を取り入れるために、**住民・事業者等と行政の協働**を進めます。
 - 関係者が協力し、**相互に連携した推進体制**のもと施策に取り組みます。
 - 今後期待される **技術革新等にも柔軟に対応**し、適時適切に施策を見直します。

6-2 推進体制

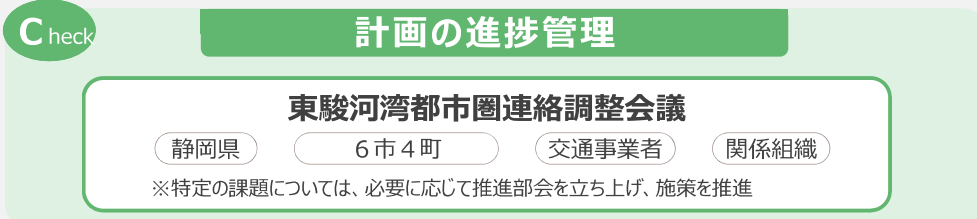
【第3回東駿河湾都市圏総合都市交通体系調査（平成27年度（2015）～平成30年度（2018））】



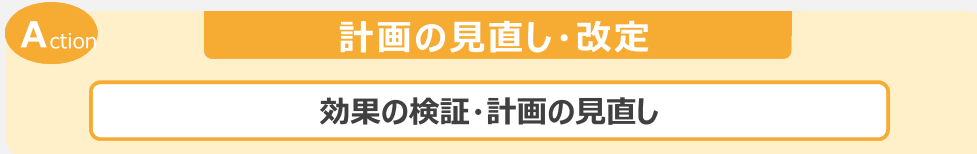
【平成31年度（2019）～平成40年度（2028）】



【平成31年度（2019）～平成40年度（2028）】



【平成41年度（2029）以降】



住民のみなさん